

社会福祉学部 <令和7年度 一般選抜 後期日程>

【出題意図】

文章の理解力、判断力および理解した内容を論理的に説明できる文章構成力、論理的思考力、設問の趣旨に沿った表現力を評価する。

【解 答】

問1 (解答例)

他者から援助されるからといって、すぐに他者に依存するわけではない。できることまでは自分でしており、援助を求める前に十分すべきことをしているはずである。できないことについては他者から必要な援助は受けていいし、受けなければならず、大人であっても誰からも援助されずに一人で生きることは難しいため。(145文字)

(採点基準)

- ・「援助を求める前に自分がすべきことをしていること」、「できないことについては、他者に援助を求めることが必要であること」「誰からも援助されずに一人で生きることは難しい」「自分の価値は生きていることにあるため、そのことで価値が減じることにはならない。」「他者から援助されるからといって、すぐに他者に依存するようになるわけではない。」から2点以上が述べられている。
- ・「自分ができないことをできないと認め」「それを人にいえるのも自立である」の理由として適切な解となっている。
- ・文章表現、文章構成が適切である。
- ・文章が完結しており、字数制限が守られている。
- ・誤字脱字がない。

問2

個別の解答が予想されるため、解答例は示さない。

(採点基準)

- ・本文の内容を踏まえて、「他者に援助を求める」ことのハードルや、「他者に援助を求める重要性」について触れている。
- ・「関わり方」について、自身の考えが論理的に述べられている。
- ・自身の考えの理由が論理的に述べられている。
- ・文章表現、文章構成が適切である。
- ・文章が完結しており、字数制限が守られている。
- ・誤字脱字がない。